



被告製品 X

原クレーム	充足	—	—	充足	充足	クレーム1
	無効	(無効)	—	無効	(有効)	
訂正後	充足	充足	充足	充足	充足	クレーム2
	有効	(有効)	有効	有効	(有効)	
結論	侵害	侵害	侵害	侵害	侵害／侵害	結論

被告製品 Y

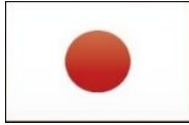
原クレーム	充足	—	—	充足	充足	クレーム1
	無効	(無効)	—	無効	(有効)	
訂正後	(非充足)	非充足	非充足	非充足	非充足	クレーム2
	—	—	有効	有効	(有効)	
結論	非侵害	非侵害	非侵害	非侵害	侵害／非侵害	結論

総括パネルディスカッション

Topic 1 侵害裁判所による無効判断

Topic 2 対抗主張としての訂正手続

被告製品 X



原クレーム	充足
	無効
訂正後	充足
	有効
結論	侵害

被告製品 Y

原クレーム	充足
	無効
訂正後	(非充足)
	—
結論	非侵害

Topic 1

侵害裁判所による無効判断

キルビー判決が
指向するもの

被告製品 X



原クレーム	充足
	無効
訂正後	充足
	有効
結論	侵害

被告製品 Y

原クレーム	充足
	無効
訂正後	(非充足)
	—
結論	非侵害

Topic 1

侵害裁判所による無効判断

ダブルトラック制度では、
特許権者の
負担が大きいか？



被告製品 X

原クレーム	充足
	無効
訂正後	充足
	有効
結論	侵害

被告製品 Y

原クレーム	充足
	無効
訂正後	非充足
	有効
結論	非侵害

Topic 1 侵害裁判所による無効判断

英国模擬裁判において、
特許庁の無効化手続が
利用されなかったのは、
なぜか？



被告製品 X

クレーム1	充足
	(有効)
クレーム2	充足
	(有効)
結論	侵害／侵害

被告製品 Y

クレーム1	充足
	(有効)
クレーム2	非充足
	(有効)
結論	侵害／非侵害

Topic 1

侵害裁判所による無効判断

米国模擬裁判では、
なぜ、訴訟手続を
中止しなかったのか？



被告製品 X

クレーム1	充足
	(有効)
クレーム2	充足
	(有効)
結論	侵害／侵害

被告製品 Y

クレーム1	充足
	(有効)
クレーム2	非充足
	(有効)
結論	侵害／非侵害

Topic 1

侵害裁判所による無効判断

IPR手続において、
特許有効と判断された後
であっても、被告は、
侵害訴訟において特許の
有効性を争えるか？



被告製品 X

原クレーム	—
	(無効)
訂正後	充足
	(有効)
結論	侵害

被告製品 Y

原クレーム	—
	(無効)
訂正後	非充足
	—
結論	非侵害

Topic 1
 侵害裁判所による無効判断

分離制度 (Bifurcation) の
 もとでの、
 侵害裁判所における
 特許の有効性審査の実情

被告製品 X



原クレーム	—
	(無効)
訂正後	充足
	(有効)
結論	侵害

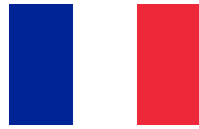
被告製品 Y

原クレーム	—
	(無効)
訂正後	非充足
	—
結論	非侵害

Topic 1

侵害裁判所による無効判断

侵害訴訟の判断の後、
特許裁判所において、
特許が無効になった場合
は、どうなるか？



被告製品 X

原クレーム	—
	—
訂正後	充足
	有効
結論	侵害

被告製品 Y

原クレーム	—
	—
訂正後	非充足
	有効
結論	非侵害

Topic 1

侵害裁判所による無効判断

フランスの模擬裁判で、
特許の有効性を、
充足よりも先に判断した
のは、なぜか？

総括パネルディスカッション

Topic 1 侵害裁判所による無効判断

Topic 2 対抗主張としての訂正手続



被告製品 X

クレーム1	充足
	(有効)
クレーム2	充足
	(有効)
結論	侵害／侵害

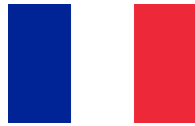
被告製品 Y

クレーム1	充足
	(有効)
クレーム2	非充足
	(有効)
結論	侵害／非侵害

Topic2

対抗主張としての訂正手続

**米国の
特許侵害訴訟において、
特許無効が主張された際、
特許権者が採り得る手段**



被告製品 X

原クレーム	—
	—
訂正後	充足
	有効
結論	侵害

被告製品 Y

原クレーム	—
	—
訂正後	非充足
	有効
結論	非侵害

Topic2

対抗主張としての訂正手続

フランスの
特許侵害訴訟において、
訂正の対抗主張を
すべき時機



被告製品 X

原クレーム	—
	(無効)
訂正後	充足
	(有効)
結論	侵害

被告製品 Y

原クレーム	—
	(無効)
訂正後	非充足
	—
結論	非侵害

Topic2 対抗主張としての訂正手続

ドイツの
特許侵害訴訟において、
訂正の対抗主張を
すべき時機



被告製品 X

原クレーム	充足
	無効
訂正後	充足
	有効
結論	侵害

被告製品 Y

原クレーム	充足
	無効
訂正後	非充足
	有効
結論	非侵害

Topic2 対抗主張としての訂正手続

英国の 特許侵害訴訟における 訂正の対抗主張の 位置付け



被告製品 X

原クレーム	充足
	無効
訂正後	充足
	有効
結論	侵害

被告製品 Y

原クレーム	充足
	無効
訂正後	(非充足)
	—
結論	非侵害

Topic2 対抗主張としての訂正手続

日本の 特許侵害訴訟における 訂正の再抗弁の審理

総括パネルディスカッション

専門的知見の活用



被告製品 X

原クレーム	充足	—	—	充足	充足	クレーム1
	無効	(無効)	—	無効	(有効)	
訂正後	充足	充足	充足	充足	充足	クレーム2
	有効	(有効)	有効	有効	(有効)	
結論	侵害	侵害	侵害	侵害	侵害／侵害	結論

被告製品 Y

原クレーム	充足	—	—	充足	充足	クレーム1
	無効	(無効)	—	無効	(有効)	
訂正後	(非充足)	非充足	非充足	非充足	非充足	クレーム2
	—	—	有効	有効	(有効)	
結論	非侵害	非侵害	非侵害	非侵害	侵害／非侵害	結論